

芥川賞受賞作



影裏

(文學界5月号にも掲載)

沼田 真佑 著
文藝春秋

ただ一人心を許せる友人は実は…主人公とその友人・日浅。とても気の合う仲だった。男性同士の友達関係やその距離感がリアルな作品。(石・国・南)

直木賞受賞作



月の満ち欠け

佐藤 正午 著
岩波書店

「月が満ちて欠けるように、何度でも生まれ変わる。」目の前の娘は本当に妻なのだろうか？前世の記憶を持つ少女と、彼女を愛した人々の魂をめぐる物語。(石・国・南)

図書館であなたの人生の一冊に出会おう

読書人

今月のテーマ

「芥川賞・直木賞」

7月19日に第157回芥川賞・直木賞の受賞作が発表されました。最終選考に残った作品と合わせてご紹介いたします。発表後に単行本化された作品など、現在発注中のももありますので、詳しくは図書館にてお尋ねください。



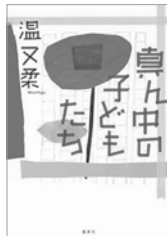
芥川賞候補作品



星の子

今村 夏子 著
朝日新聞出版

病弱だった幼いちひろの両親がすがったのは、あやしい水『金星のめぐみ』。信仰によって歪んでゆく家族のかたち。(石・国・南)



真ん中の子どもたち

(すばる4月号にも掲載)

温又柔 著
集英社

日本育ちで台湾と日本のハーフである琴子が留学先で友人たちと、自らのアイデンティティを探し求める青春小説。(国)



四時過ぎの船

(新潮6月号にも掲載)

古川 真人 著
新潮社

青年は全盲の兄を支えながら、自身の生に迷う。認知症の祖母が青年に伝えた最期の願いとは？(国)

直木賞候補作品



敵の名は、宮本武蔵

木下 昌輝 著
KADOKAWA

宿命を背負い、一对一の戦いに命を散らす七人の物語。敗れた者達の目に映る『剣豪』宮本武蔵の姿とは。(石・国)



会津執権の栄誉

佐藤 巖太郎 著
文藝春秋

戦国時代の芦名家の滅亡を描いた連作短編集。改めて会津の歴史を知ることのできる作品。(石・国)



あとは野となれ大和撫子

宮内 悠介 著
KADOKAWA

国の危機を救うため、女性たちが政権を運営することに！中東を舞台にしたエンタメ冒険ストーリー。(石・国)



BUTTER

柚木 麻子 著
新潮社

殺害容疑で逮捕された梶井。欲望と快楽に忠実な彼女に翻弄される記者を描く、長編小説。(石・国)

◇紹介文の最後に、所蔵している図書館を表示してあります。

【(石)=石橋 (国)=国分寺 (南)=南河内】

※「すばる」「新潮」は南河内館、「文學界」は3館で購読しています。

所蔵館以外でも予約をかけていただければ貸出しが可能です。

詳しくは図書館にお尋ねください。

石橋図書館 ☎(52)1136 / 国分寺図書館 ☎(44)3399

／南河内図書館 ☎(48)2395

